

【件名】	環状第2号線(臨海部)道路台帳測量	【事務所名】	第一建設事務所
【施行場所】	東京都中央区銀座八丁目地内から 同区勝どき六丁目地内まで(築地大橋は除く)	【受託者名】	株式会社ツカサ測量設計
【工期】	令和6年7月22日から令和8年3月12日まで	【主たる技術者名】	主任技術者 永井 渉

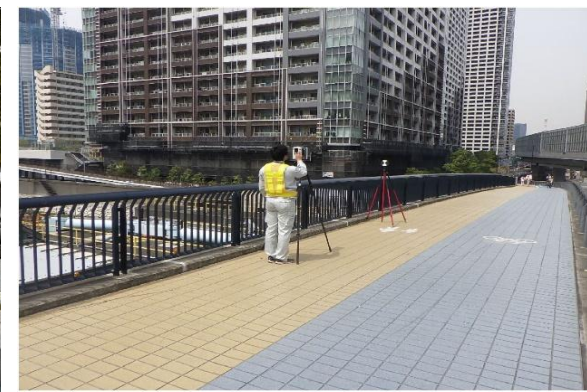
【委託概要】本業務は、令和4年12月に交通開放した環状第2号線（築地・新橋間）延長1.38kmを対象に、境界点測量や基準点測量等を実施し、道路台帳を作成したものである。

【表彰理由】（※発注者側評価）

対象区間は、橋梁、陸橋、掘割、トンネルなど多様な構造物が連続し、豊洲市場への大型運搬車両を含む1日約25,000台（トンネル部）の交通量と最大8車線の広幅員道路を有する厳しい測量条件下にあった。さらに、当該工事や隣接して予定されている開発事業により精度を保った基準点が減少しており再点検及び復元作業を行う必要があった。受注者は、自ら分析・検討を行い、GNSS（衛星測位システム）及び電子基準点を活用した測量手法を提案して基準点の復元や道路区域の点検を実施し、業務遅延の回避に貢献した。また、MMS（車両搭載型レーザー計測システム）や地上レーザー測量も提案し、擁壁など複雑な構造物の計測作業の効率化を図るとともに、交通への影響や作業員の危険を最小限に抑え、安全性の確保と測量精度を両立した。こうした卓越した技術提案力と課題解決力により、高精度で信頼性の高い道路台帳を整備し、道路行政を支える重要な基盤資料を構築したことを高く評価する。



新大橋通りとの交差点付近での境界点測量



黎明大橋上での基準点測量

- 【備考】委託延長 1,380m
 ○道路台帳平面図作成 63,300㎡
 ○道路台帳調書作成 1,380m
 ○地下埋設物台帳平面図作成及び調書作成 15,700㎡
 ○道路敷地構成図及び調書作成 1,380㎡
 ○境界点測量 1,380m
 ○4級基準点測量 48点
 ○公示用図書の作成 1件

※MMS（車両搭載型レーザー計測システム）による計測
 車両搭載型レーザーを設置した車両を走行させながら、道路及びその周辺の地形・地物の座標を計測。取得したデータ（三次元点群）を基に台帳を作成した。作業の安全性を高めるとともに、効率化にも寄与した。



車両搭載型レーザーによる計測の様子



レーザーの拡大写真